

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月5日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 3870103953 | | |
| 法人名 | 有限会社やわらぎ | | |
| 事業所名 | グループホームぶうさんのおうち | | |
| 所在地 | 松山市松前町1丁目2-8 (電話) 089-945-1051 | | |
| 管理者 | 田村 富美子 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年7月10日 | 評価確定日 | 平成20年9月5日 |

【情報提供票より】 (平成20年6月1日事業所記入)

| | | | |
|----------------------------|--------------------|------------|-----------------------|
| (1)組織概要 | | | |
| 開設年月日 | 平成16年5月1日 | | |
| ユニット数 | 1ユニット | 利用定員数計 | 9人 |
| 職員数 | 9人 | 常勤 | 8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.6人 |
| (2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | |
| 家賃(平均月額) | 20,000円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる |
| 敷金 | 有(円) (無) | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) (無) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,000円 | | |
| (3)利用者の概要 (平成20年6月1日現在) | | | |
| 利用者人数 | 9名 | 男性 3名 | 女性 6名 |
| 要介護1 | 2名 | 要介護2 | 2名 |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | 1名 |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | 0名 |
| 年齢 | 平均 86歳 | 最低 71歳 | 最高 99歳 |
| (4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | |
| 指定 (あり)・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | | |
| 指定 あり・(なし) | 指定認知症対応型通所介護 | | |
| 届出 あり・(なし) | 短期利用共同生活介護 | | |
| 加算 あり・(なし) | 医療連携体制加算 | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

縫い物の得意な利用者が、パジャマのすそ上げをしたり、骨董が趣味の方は、美術館等にも出かけておられる。毎週金曜日に「ゆとりの時間」を設け、ゆっくり過ごすよう工夫されたり、法人で月2回開く喫茶店も利用されている。
 市社協主催の研修に、利用者が本の朗読の発表をすることが計画されている。
 医師・ご家族とも話し合いを重ね、ご家族の協力を得ながら重度化、終末期の支援を実践されている。他の利用者も励ましの言葉をご本人にかけられたり、職員も一丸となって取り組まれた。
 調査訪問時、野菜切り、魚の手開き、食器洗いをされる利用者の姿がうかがえた。一緒に調理をすることをきっかけに、お嫌いなものも食べられるようになった方もいる。

【質向上への取組状況】

| |
|--|
| 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| ・前回の評価結果を受けて、介護計画の作成について、より利用者本位の計画を作成するために、アセスメントの様式等の工夫をされた。 |
| 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| ・職員全員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。 |
| 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| ・事業所から活動の報告をされたり、毎回テーマを決めて意見交換をされている。「事業所同士の交流のあり方」「家族交流について」等、多数提案をいただいた。 |
| 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| ・ご家族の毎月の来訪時に、日常の暮らしの様子を報告されたり、遠方にお住まいのご家族には、担当者が写真やお手紙で様子を伝えておられる。又、年度始めには、行事の年間スケジュールを知らせ、参加を促しておられる。 |
| 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| ・事業所内で利用者が朗読や紙芝居をされるのを聞きに、近隣の方や保育園児と保護者が集まった。又、地域の夏祭りには、利用者と職員が協力し合って、くじ引きの店を出店することとなっていた。 |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームふうさんのおうち

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

田村富美子

評価完了日

平成20 年6 月26 日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | 地域密着型サービスとしての理念ではない | | 町内会の祭り・敬老会の参加・保育園での朗読をしているが、地域に浸透するようにするには細かい理念を作る必要がある。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所は、地域との交流を深め、気軽に立ち寄ってもらえる事業所作りを目指しておられる。 | | 現在は、法人の理念に基づき取り組まれているが、今後、事業所独自の具体的でわかりやすい理念を作りたいと考えておられた。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 日々、実践する中で立ち止まり省みることはあるものの、実践に向けての取り組みは出来ているとはいえない。 | | 職員が意識を持って取り組めるような具体的な理念の共有が必要ではないかと考える。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所が「利用者個々の安堵できる生活の場となっているか」時々省みておられる。 | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 玄関フロアに理念を掲示しているが、大まかな理念のため家族・地域の人が理解し難いのではないかと考える。 | | 今ある理念をもとに地域・家族の方に理解してもらえるような理念作りが必要ではないかと考える。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 散歩・買い物に出かけた時に地域の人に挨拶をするようにしているが、気軽に立ち寄ってもらえるような関係作りまでには至っていない。 | | 積極的なアプローチの必要がある。行事参加してもらえるよう呼びかけし隣近所の方とのコミュニケーションを図っていきたい。 |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 町内会の敬老会参加・回覧板を回したり、月2回の喫茶店を行ったりして少しずつではあるが、地域との交流に努めている。 (外部評価) 事業所内で利用者が朗読や紙芝居をされるのを聞き、近隣の方や保育園児と保護者が集まった。又、地域の夏祭りには、利用者と職員が協力し合っ、くじ引きの店を出店することとなっていた。 | | 今後も継続的に参加し地域との交流を深めていきたい。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 話し合いや具体的な取り組みは出来ていない。 | | 地域の高齢者や家族にとって気軽に相談出来る窓口になる。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 実施する意義を理解している。1年を振り返り反省出来るいい機会であると思っている。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、介護計画の作成について、より利用者本位の計画を作成するために、アセスメントの様式等の工夫をされた。 | | 外部評価時だけの改善見直しにしかなく、継続出来るよう具体的な実践が出来るようにする。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | テーマをあげて話し合い、情報収集したり意見を参考にしている。 | | 運営推進会議そのものを理解している職員が少ないため、職員間での報告・意見交換をし、会議が介護現場に活かされるようにする。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所から活動の報告をされたり、毎回テーマを決めて意見交換をされている。「事業所同士の交流のあり方」「家族交流について」等、多数提案をいただいた。 | | |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 行き来する関係にまでには至っていないが、協力や相談の機会が増えた。 | | 事故報告について細めに行っている。直接、市に問い合わせし難い声も聞かれることがあり、相談・連絡をする等の窓口になる。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 市の担当者と、利用者の生活支援について相談をされている。市社協主催の研修に、利用者が本の朗読の発表をすることが計画されている。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 研修等で学ぶ機会があるものの活用出来ていない。 | | 研修等を利用し全職員が学べるようにする。 |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 虐待防止関連法について学ぶ機会を持っていない。 | | 研修の機会を設けるようにする。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時には必ず行っている。家族のいない方にも、本人に解りやすい言葉を用いて行うようにする。 | | 契約以外でも、その都度応じるように伝えている。 |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 苦情の窓口については契約時に伝えている。公共機関への直接の苦情の窓口がある事も伝えている。 | | 苦情・意見の申し出があれば職員同士で伝え合い、見直しをするようにする。 |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 身体状況や日常の様子を家族に伝えるようにしている。金銭管理(お小遣い)についても、請求書と一緒に購入物のレシートを送付している。 | | 自社便りで事業所内の様子を伝えている。 |
| | | | (外部評価) ご家族の毎月の来訪時に、日常の暮らしの様子を報告されたり、遠方にお住まいのご家族には、担当者が写真やお手紙で様子を伝えておられる。又、年度始めには、行事の年間スケジュールを知らせ、参加を促しておられる。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 苦情の窓口については伝え説明してる。 | | 何でも言い合える家族との関係を築けるようコミュニケーションを図る。 |
| | | | (外部評価) ご家族の来訪時、出していただいたご意見等は、早急に改善できるよう職員で共有し、取り組まれている。 | | ご家族から「家族会発足」の提案をいただいている。今後、行事に参加いただいた時等に、家族同士で話し合える機会を持ちたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 個別に面談したりすることもあるが、十分とは言い難い。 | | 意見・提案の実践に向けて、取り組めるようにする。 |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 行事や利用者の状況の変化に対応できるように勤務調整出来ている。 | | 人員の増員が出来るようになるようになった。職員だけの人員だけでは限りがあるため、ボランティアの協力を求める。 |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 移動・離職を必要最小限に抑える努力をしている。 | | 個々の利用者の状況に応じて伝えるようにしている。移動・離職者に気軽に来所してもらえるようにする。 |
| | | | (外部評価) 新しい職員は、利用者と一緒に掃除をされる等、コミュニケーションを図り、関係を深められるよう努めておられる。又、退職された方が時々お菓子作りに来てくれることもある。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 事業所内で新人研修や勉強会をしている。 | | 積極的に相互研修し、研修報告を行い職員同士の向上を図る。 |
| | | | (外部評価) 管理者は、職員に研修を案内されている。外部研修受講時の資料をファイルに綴じ、いつでも見られるようにされている。 | | 管理者は、職員の段階に応じた研修が受けられるよう計画を立てたり、事業所内でも職員会時に、勉強会を行う等、ケアの向上につなげたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|----------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|--------------------------------------|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | | |
| | | | 昨年度、県GH協会主催の相互訪問に参加し、1度だけ互いに運営推進会議に参加し交流を図った。 | | | 研修会などを通して情報交換を行いきっかけをつくり交流が図れるようにする。 |
| | | | (外部評価) | | | |
| | | | 管理者は、市内のグループホームの運営推進会議に出席して事業所の活動報告をされたことがある。又、事業所で行う行事に参加いただけるよう、近くのグループホームに案内をされている。 | | さらに、管理者は、交流のある近隣のグループホームと、職員・利用者ともに気軽に行き来できるような関係を作っていきたいと考えておられた。 | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | | |
| | | | 職員同士での食事会・忘年会がなくストレスを軽減する場がない。 個々で休日にストレス解消している。 | | | 年に何回か職員で集まりストレスを発散出来る場を持ちたい。 |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | | |
| | | | 日常的ではないが個々の職員の良さや持ち味を大切にしている。 | | | コミュニケーションをとる機会が増えるといい。 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | | |
| | | | 事前面接を行ったり、体験入所してもらって情報収集し、要望を聞く機会を作っている。 | | | 情報収集は記録しチームで共有し、支援出来るようにしている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 家族が求めていること、悩みを傾聴し受け止められるよう努力している。 | | 家族が相談しやすい環境を作るためにコミュニケーションを図るようにし、チームで情報の共有に努める。 |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 本人・家族の話を傾聴し、そのうえで求めている支援を汲み取るよう努めている。 | | 他の専門機関の利用の相談が出来るようにする。 |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 職員や他利用者や場の雰囲気を感じてもらえるように体験的にすごしてもらっている。 | | 体験入所が出来るようにした。 |
| | | | (外部評価) 入居前に事業所で1日過ごしてみる等、事業所の雰囲気を感じていただくようにされている。他の利用者の方にも紹介をされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 利用者と一緒に取り組めるようにしているが(家事・掃除など)介護度の違いにより、利用者個々の支援に偏りがある。 | | 利用者と一緒にゆっくりと関わりを持ち、利用者が持っている力を発揮できるように支援する。 |
| | | | (外部評価) 調理の味付けや、ことわざの意味を教えていただくことがある。干し柿や奈良漬を職員、利用者が一緒に作られた。又、職員は、利用者からねぎらいの言葉をかけていただくこともある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|---|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 家族と触れ合う機会が少ないため、年間行事や誕生日会等の案内を出したりして参加してもらったりしている。 | | お互いに何でも話せる関係を築くために、コミュニケーションを図り信頼関係を得るようにする。 |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 家族に本人の状況を伝えたり、悩みを聞くなどしてコミュニケーションを図り、仲介役になれるように努めている。 | | 日常的な連絡・報告を行い、ケアプランに本人と家族の思いを取り入れるようにしている。 |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 出来るだけ本人の要望に沿えるようにしているが、出来ないことの方が多い。 | | 日常会話の中から昔のことを思い出してもらうようにする。 馴染みの人との連絡は、相手方の理解が得られれば、関係が途切れないように支援している。 |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 介護度の違いがあり、利用者同士のコミュニケーションを図る事が難しい場合は、職員が仲介し関わりを持つようにしている。 | | 利用者同士のトラブルが起きたときは、その都度対応するようにしている。個々の持てる力を発揮出来るようにする。 |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 自社便りを送付したり、行事に参加してもらえるように呼びかけている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------------|--|
| <p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> | | | | | |
| <p>1.一人ひとりの把握</p> | | | | | |
| 33 | 14 | <p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>(自己評価) 本人にケアプランの説明を行い実践し、カンファレンス時に話し合い対応するようにしている。</p> | | <p>意思疎通が難しい利用者については、表情・体調により検討する。毎月のモニタリングを行っているが、プランに沿って行っているかだけでなく、視野を広げ本人が居心地のよい暮らしにする。</p> |
| | | | <p>(外部評価)</p> | | |
| <p>職員が、日々利用者とのかかわりの中で知り得た情報は、連絡ノート・個人記録に記入し、全員で把握できるようにしている。歩けるようになりたいという希望から、整形外科にリハビリに通っておられる方もいる。食事時には調味料を選んでもらえるよう、職員は声かけされていた。</p> | | | | | |
| 34 | | <p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>(自己評価) 本人・家族等から情報収集するが、把握出来ないこともある。</p> | | <p>コミュニケーションを図り、会話の中から情報収集をする。</p> |
| 35 | | <p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>(自己評価) チームで情報を共有し、総合的に把握出来るように努めている。(アセスメントシート・個別記録・ケアプラン)</p> | | <p>身体状況を把握し、必要に応じて連携医療機関に相談しながら対応するようにしている。</p> |
| <p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p> | | | | | |
| 36 | 15 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価) カンファレンス時に情報交換し、各担当者がケアプラン作成・モニタリングを行い、実践出来るように取り組んでいる。</p> | | <p>医療機関・その他の機関との連携を行い介護計画をする。</p> |
| | | | <p>(外部評価)</p> | | |
| <p>利用者・ご家族・主治医の意見を伺い、介護計画を作成されている。</p> | | | | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) 毎月モニタリングを行い、ケアプランの見直しを行っている。状態に変化が見られた場合は、その都度行っている。 | | 身体状況の変化が見られた場合は、連携医療機関に相談や指示を受けプランの作成を行う。 |
| | | | (外部評価) 毎月モニタリングし、見直しを行っておられる。又、状態の変化によって随時、見直しておられる。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) ケアプランの実践の様子・気づきの記入漏れがあり、ケアプランの見直しに活かしていない時がある。 | | 職員間で連絡ノートを作り、情報を共有している。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) 事業所内で可能な場合は、応じるようにしている。 (百寿) | | 24時間対応の医療機関との連携や、行事など職員の勤務体制など柔軟に対応している。 |
| | | | (外部評価) 訪問マッサージを利用されている方がいる。ご家族の都合等に合わせて、職員が美容室や病院へ同行されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 学生ボランティアの受け入れや、保育園との交流など協力してもらっている。 | | 保育園でのお話会の参加や事業所と地域の方との交流が図れるように、じいじとばあばのお話会をする予定にしている。 |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 個人的にマッサージの利用をしている利用者がいる。入所などの問い合わせで他の事業所への連絡をとることもある。 | | 地域のケアマネ交流会に参加する。 |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 権利擁護等の相談は行っていないが、その他のことで相談・協力を依頼したことはある。 | | 糖尿病の食事制限に関する対応の情報を得られるように依頼（運営推進会議） |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 24時間対応の医療機関との連携をし、本人や家族の意向を医療機関に伝えたり、他の専門医療への紹介も依頼している。 訪問歯科など適切な医療が受けられるように支援している。 | | 本人・家族の意向を医療機関に伝え、お互いにコミュニケーションを図り理解・納得を得て最良の対応が出来るように努める。 |
| | | | (外部評価) 協力医がすべての利用者のかかりつけ医となっている。受診する場合は、ご家族・職員が同行し、往診時の記録を作成し、全職員で把握されている。 | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 認知症に詳しい医師との関係がない。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|---|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 連携医療機関の看護職員に気軽に相談し援助してもらっている。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 連携医療機関の相談に応じてもらう。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 事業所にて看取りが行える事は指針をもとに入所時に説明している。 | | 本人の意思確認が出来ないことがあるので、家族・医師と話し合いをし、納得できるように努める。 |
| | | | (外部評価) 医師・ご家族とも話し合いを重ね、ご家族の協力を得ながら重度化、終末期の支援を実践されている。他の利用者も励ましの言葉をご本人にかけられたり、職員も一丸となって取り組まれた。 | | |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 家族・医療・事業所と連携しチームで支援を行い、細かいケアプラン作成・見直しを行い、統一したケアが出来るように努めた。(2名の看取りを行った) | | 事業所の出来ること・出来ないことは家族にその都度伝え、家族に納得・理解してもらい、本人・家族の思いを受け止め支援する。 |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 事前に体験的に来所してもらい、本人の要望を聞いたり情報収集し、住み替えによるダメージを軽減するように努める。 | | 入所後も必要に応じて関係機関との連携をとる。アセスメント・情報収集を行う。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 個別記録時イニシャルで対応し、守秘義務についても心がけている。 | | プライバシーを損ねるような対応時は、職員同士で指摘し改善するようにしている。 |
| | | | (外部評価) 利用者の呼び方については、入居時に希望をうかがうようにされている。職員同士で言葉かけ等について、確認し合うようにされている。 | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 自己決定出来るようにゼスチャーやカードを用いたりして色々工夫しコミュニケーションを図っている。 | | 利用者とのコミュニケーションを大切に、思いや希望を気軽に言い合える関係を築けるようにする。 |
| | | | (外部評価) | | |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 勤務体制により業務的な関わりになってしまうことがある。 | | コミュニケーションを図り、一人一人のペースを大切に、ゆったりとした関わりが出来るようにする。 |
| | | | (外部評価) 起床時間に合わせた食事時間となっていた。食事は、利用者個々のペースで食べておられた。 | | 職員は、気持ちをゆったりと持ち、利用者とともに過ごせるよう心がけたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 53 | | <p>(自己評価)</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>整容・お化粧品などの支援、本人の希望する時期に、希望するお店に行けるようにしている。</p> | | <p>経費的な心配、体力的に不安な利用者の散髪などは、ホーム内にて対応している。 表現の困難な方は、職員の主観的対応になってしまうこともあるが、「 はどうですか?」「 にしてみませんか?」など、本人への理解に結びつくような対応をする。</p> |
| 54 | 22 | <p>(自己評価)</p> <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>利用者に食べたいものを聞いたりして、利用者と共に料理の準備しているが、職員の人数や時間がない時は、職員のみで行うことが多い。 職員と利用者が一緒に食事できていない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、野菜切り、魚の手開き、食器洗いをされる利用者の姿がうかがえた。一緒に調理をすることをきっかけに、お嫌いなものも食べられるようになった方もいる。</p> | | <p>献立を立てる際も利用者に食べたいものを聞いたり、苦手な食品は、個々にそれに変わる食品で準備する。 利用者と共に料理をする時間を作りたい。</p> <p>建物上の制限のこともあり、利用者と職員と一緒に食事することがむづかしいようであるが、利用者がさらに食事を楽しめるような職員のかかわり方等について、工夫を重ねていかれてほしい。</p> |
| 55 | | <p>(自己評価)</p> <p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>制限などのない方は、出来るだけ本人の嗜好に応じて、準備できるようにしている。 お正月にお酒を飲んだりする。</p> | | <p>個々に応じて、買い物に出かけている。 お正月に以外でも、お酒を楽しめる機会を持てるようにしたい。</p> |
| 56 | | <p>(自己評価)</p> <p>気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | <p>自立に向けての積極的支援を行っているが、本人が不安を訴える場合は、紙パンツなどの使用も行いながら支援している。 排泄パターンは、解っていないが、時間を予想して声掛けをしている。</p> | | <p>排泄パターンなど、24時間シートでチェックして、把握に努め、トイレ使用の支援を行っている。 冬は、便座が冷たいので、何らかの工夫が必要。</p> |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--------------------------------|--|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | | 2日1回の入浴を行っているが、失禁した場合は、それに関係なく、入浴を行ってもらっている。 拒否の多い方は、誘い方やタイミングを工夫している。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | | | 利用者の希望があれば、いつでも入浴できるようになっている。気の合う利用者同士で入浴されている。 |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | | 日中、身体状況に応じて、居室で休息をとってもらっている。 シーツ交換は、1週間に1回施行。 夜間は、本人のリズムで休まれるよう支援している。 | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | | 日常的に支援できること、行事などの楽しめる事など工夫している。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | | | 縫い物の得意な利用者が、パジャマのすそ上げをしたり、骨董が趣味の方は、美術館等にも出かけておられる。毎週金曜日に「ゆとりの時間」を設け、ゆっくり過ごすよう工夫されたり、法人で月2回開く喫茶店も利用されている。 |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | | 基本的に管理は、ホームで行っているが、買い物に行ったときは、本人に支払ってもらい、残金の確認とおこずかい張りに記入してもらったりしている。 | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|---|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 散歩希望、買い物希望、散髪希望など、本人の意思を尊重し、出来る限り対応している。 時間帯によって困難な時もある。 | | 職員だけの対応では、困難なことは、家族やボランティアの協力を得られるようにする。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 調査訪問時、堀端にお散歩に出かけられる方がうかがえた。ご自分の趣味の物や食材を買いに、近くの商店街に出かけておられる。味酒公園に手作り弁当を持って出かけ、お花見を楽しまれることもある。 | | 夏は北条に海水浴に出かける予定や、秋には、道後の介護研修センターに宿泊するような計画もあった。 |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 職員の数を調整して、遠出、外泊など行っている。 | | 行事などで出かけることが多い。 行事以外でも増やして行きたい。 |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 本人の希望があれば、電話の使用支援をしている。 | | 本人希望によって、自由に電話して頂いているが、先方の都合により、拒否の場合もあるので、全部、本人の意思どりに支援できない。 |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 訪問はいつでも受け入れているが、家族以外の訪問は、ほとんどない。 | | たまに、手紙や手作りのものを送ったりしている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 身体の状態で、ベッドに柵を設置することはあるが、家族に了解を得て、行っている。 | | 身体拘束にならないケアをする。 (緊急時、やむえない場合を除いて) |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 日中、鍵はしていない。 夜間時のみ、玄関と3階入り口のみ、鍵を使用している。利用者にも、セキュリティの為であることを伝えている。 | | 夜間帯の鍵の使用（玄関・3階入り口）について利用者、家族に了解を得ている。 |
| | | | (外部評価) 現在は、利用者が外出する際には、職員に声をかけてくれている。2階の玄関の出入り時には、鈴が鳴るようになっている。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 夜間は、2時間おきに巡回している。 日中、居室で過ごされている人のところへの巡回は、出来ていない。 | | 利用者の状況により、必要に応じて、巡回の回数を増やす。日中、居室で長く過ごされている利用者に対しては、目を配るようにしたい。 |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) はさみ、髭剃りなども利用者に応じて、自己管理してもらっている。管理困難な方は、職員が管理し、必要な時に見守りのもと使用してもらっている。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 見守り（食事中、歩行時、居室内）を行う。 火災は、避難訓練を年に1回行っている。 | | 食事中の誤嚥に注意したい。 事故防止の知識をもっと学ぶ。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 消防署の定期指導(年1回)を受けている。 緊急マニュアルを作成している。 | | 月一回程度の訓練などがあれば、いざという時に、あわてないと思われる。 |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 自主訓練の回数が少ないと思われる。 地域の方への協力が得られるようお願いはしているが、日常的な関わり合いが少ないため、不十分。 | | 地域の人との共同の訓練の実施。 緊急連絡網の中に地域の人に加わってもらう。 |
| | | | (外部評価) 日中の災害が起こったことを想定して、利用者と職員で自主訓練を実施された。 | | 管理者は、夜間時の訓練や階段を使っでの訓練を、地域の方と一緒にやりたいと考えておられる。さらに、地域の方との協力体制作り等についても、取り組みをすすめていきたいと考えておられた。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) 入所時に説明しているが、事故につながった場合、その都度説明を行う。 | | 介護理念を伝え、納得された上で、契約を交わす。 リスクを伴うが、インシデントノートの作成で、防げるものは、職員間で、周知、対応する。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 1日1日のバイタルチェックにて、早期に状態の異変の発見に努め、主治医への連絡をし、指示を受け対応。職員間には、その場で、情報を共有している。 | | 緊急時のマニュアルを作成。 医療機関・家族への連絡など、管理者は、勤務外でも連絡・支持する体制を整えている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 介護記録の始めに、服薬の説明書をファイルと、日々、管理、正確な服薬に努めているが、全部の把握は難しい。 | | 症状に応じた専門の医療の利用が可能になるようかかりつけ医との連携を図る。 副作用に注意する。 |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 自然排泄に心がけているが、便秘を回避するために、排便状況に応じて、薬(チャルドール液・ヨーデル錠)にて、調節を行っている。 | | 調理の仕方に工夫し、食物繊維の多い食材を摂り入れるようにしたい。 |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 義歯洗浄、ガーゼでの洗浄、自己で対応。様々であるが、支援の声掛けに努めているが、1日3回の対応は、難しい。 記録し、チェックしている。 | | 毎食後の口腔ケアの声掛け。 義歯の磨き方、管理など、歯科医に相談、指導を受ける。 必要に応じて、訪問歯科を利用。 |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 摂取量の管理は、記録にてチェックしている。 1日の食事量・水分量が少ない場合や体調により、摂食しにくい場合は、ゼリー・プリン・豆腐・栄養補助食品(ラコール)などで、対応している。 (外部評価) 食事制限や塩分制限のある方には、盛り付け方の工夫や、レモン、しょうがを使用し、香りや風味を活かして工夫をされている。栄養については、医師とも相談されている。入浴後の水分摂取や、夜間はペットボトルに飲み物を入れ、枕もとに置いておられる。 | | 栄養のバランスの取れたメニュー、水分量の増加も考える。 夏場になるので、摂取量が少ない人は、臨機応変に対応する。 |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) 手洗い・手袋・マスクの着用に心がける。 インフルエンザの予防接種をしている。 | | 食中毒に気をつける。 ノロウイルスなどの感染に対して、重く受け止める。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>毎日買い物に行き、食材を購入している。 夜勤者がまな板を消毒している。 調理後、2時間程度での廃棄処分。</p> | | <p>アルコール殺菌や、ハイター消毒をし、十分に気をつけている。</p> |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>プランターなど置いているが利用者、職員が共に育てる、手入れするという意識が低い為手入れが行き届かない。</p> | | <p>職員間で話し合い花や写真を飾っているが見直す機会を設ける。</p> |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>建物が古く、不便なところが多いが、花を置いたり、写真を飾ったりして、季節感や生活感が出来るようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>階段・廊下に、行事の写真や日頃の利用者の様子の写真が飾られていた。食後はソファに座り、テレビを見ておられる方もあった。利用者の願い事が書かれた笹飾りが飾られていた。</p> | | <p>小さなところにも気配りできるように工夫したい。 職員間で相談し、良案を出したいと思う。</p> |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>食べる所とくつろぐところは、一応別けられているが狭い。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 本人の馴染みの家具の持ち込みや、本人の使用していたものをそのまま、受け入れている。 | | 物の移動や整理整頓や衣替えなども本人の了解を得ながら、可能な限り、本人と共に行う。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 居室入り口には、ご本人の目の高さに合わせ、名札が掛けてあった。ご自宅から、以前使われていた食器を持ってこられたり、趣味の骨董品が飾られている居室もあった。 | | 居室内のおいが気になる場所もあった。換気の配慮等、さらに今後も、利用者の心地よい環境作りに取り組まれることが期待される。 |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 心掛けているが建物の構造上換気が十分に出来ないが、こまめに行っている。 | | 職員が換気に配慮を行い、淀んだ空気の中で過ごされないように心掛けて行きたい。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 2階・3階の居室の利用も身体能力に応じて、利用してもらっているが、死角になる場所があり、安全面に十分に注意が必要。バリアフリーでない場所もあるが、生活リハビリになっており、メリットとして捉えている。 | | 注意が必要な場所・場面は、インシデントノートのお作成をこまめにし、安心できる生活対応の職員間の連携を図る。 |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 見極めが難しく、過剰に手助けしている部分もある。 | | 出来る事、出来ない事を見極めて、個々の力を発揮できる場面を作る、工夫する。 目印の使用で、認知しやすいものがあれば準備する。 |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | ベランダへは、狭く、危険なので、使用していないが外周りは、よく使用している。 | | ベランダ使用は、建物の構造上難しい。 外周りは、もっと気持ちよく利用できるようにきれいにしたい。 |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|---|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが | 意思の確認が困難な利用者がある。一人一人の希望を優先すると、他利用者との関係が難しいこともある。(食事・外出・行事など) |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ④ ほとんどない | 身体介護などの業務が増え、あまりゆっくり出来ていない。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが | 利用者の生活リズムやペースに出来るだけ合わせるよう努めているが、職員数にも限界があり、思うように時間が作りにくい。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが | 一人一人の利用者と毎日ゆっくり過ごす時間が持てていないため、継続したケアの実践が出来ていない。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ④ ほとんどない | 散歩程度しか出来ず、人数に限りがある。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが | 医療機関に利用者の話をじっくり聞いてもらえず、不信感を抱いている利用者がある。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが | 希望することを完全に実行することは難しい。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ④ ほとんどできていない | 家族とのコミュニケーション不足もあり、信頼関係が取れているとはいえない。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ④ ほとんどない | 月に2回、喫茶店を行っているが、地域の人々が訪ねて来られることがほとんどない。 |

| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|--|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ③あまり増えていない ④全くいない | 来訪者に変化はないが、地域との行事が少しずつ増えてきた。(朗読など) |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない | ストレスを解消する場所がなく、職員同士のコミュニケーションが取りにくい。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない | 不安や不満は常にある。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない | 感謝して頂くことも多いが、行き届いていないことも多いと思う。 直接不満の言葉を頂くこともあり、見直す点であり、又、コミュニケーションの機会 と捉えている。(お互いの考えや思いを伝え合ういい機会) |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者にとって安緒できる生活の場であり、身体状況の変化により、自力で出来ることが少なくなっても、本人の意思、自己決定に繋がる支援の工夫を積極的に行うよう努めている。
利用者・家族・地域それぞれ参加交流を図れる行事計画を年間、毎月、個別に行っている。
年間行事は、どの行事も家族への参加を呼びかける。毎月1日・15日は、喫茶店を開いているが、継続して行っている。
個別支援では、近隣の保育園と朗読を通じて、交流をしている。事業所内でも、年4回、地域のお子さん・保護者の方など招いて、朗読を中心としたお話会の計画を立てている。